

# 立命館経済學

第二十七卷 第三号

昭和五十三年八月

---

## 内 容

### 論 說

- アダム・スミスの自然価格論について(上)……………岡 崎 栄 松 1  
——生産価格論の学史的考察——
- 寡占企業の最適広告支出に関する小論……………松 川 周 二 53

### 研 究

- 農協による経営受託……………木 村 一 夫 63  
——大垣南機械化営農組合および第一機械化  
営農組合の場合——
- 価格決定機構と産業組織……………山 本 幹 夫 110  
——西陣織物工業の事例的研究——

### 研究ノート

- J. K. ガルブレイス『不確実性の時代』考……………浜 崎 正 規 162  
——主要著作との位置づけをめぐって——
- 共同研究室…………… 185

立 命 館 大 学 経 済 学 会

論 説

経済学史の意義とその方法 (一)……………上野俊樹

産業資本主義段階における

近代的独占の存在形態 (四)……………若林洋夫

——北東イングランド石炭独占の歴史的性格——

スタグフレーション

分析に関する一試論……………河野快晴

——OECDマクラッケン・松川周二

グループ報告によせて——

資 料

日本資本主義確立期の

資本の存在形態 (田)……………後藤靖

発行所 立命館大学経済学会

論 説

景気循環における新旧技術の  
導入と廃棄について……………北野正一

産業資本主義段階における

近代的独占の存在形態(五・完)……………若林洋夫

研 究

訓練付一時帰休の

経済的基盤と諸結果……………三富紀敬

資 料

日本資本主義確立期の

資本の存在形態(六)……………後藤靖

紹 介

ステイヴンルークス『社会科学に

おける KEY CONCEPT として  
の個人主義』……………小野進

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会